

2014年度ワンゲル尾瀬 ～残雪の尾瀬沼を散策～

記録 行田 眞勝

期日 2014年5月30日(金)～31日(土)夜行日帰り

天候 晴れ 気温 30 (11:30 三平下)

参加者

小磯義昭、樋口成男、高橋龍己、早川充、大島敏治、藤野昇、宍倉弘、野極政男
宮田宏美、山下和正、木村 秩、行田眞勝、樋口ゆき子、佐久間弘子、大知洋子
倉持良子、宮部きぬ江、鈴木咲子、木村いよ子

行程

岩井ペニマル ～ 御池(仮眠) ～ 沼山峠 ～ 展望台 ～ 大江湿原 ～ 長蔵小屋 ～
21:20頃 3:28 5:03 5:23 5:34 6:07 6:13 6:50 6:55 7:25 7:45
沼尻 ～ 三平下 ～ 長蔵小屋 ～ 展望台 ～ 沼山峠 ～ 御池 ～
8:56 9:40 11:25 11:51 12:19 12:34 13:33 13:57 14:03 14:30 16:09
道の駅湯の香しおばら ～ 西那須野塩原IC ～ 佐野SA ～ IC ～ 古河駅 ～ 岩井ペニマル
18:22 18:30 19:32 19:45 20:20頃 21:15頃着

山行記録

5月30日守谷から中山観光のバスで出発、坂東ペニマルと長須で坂東の参加者をさらに古河駅で宮田氏をピックアップして御池に向かう。

坂東から車内では久しぶりの再会にビールで乾杯、ワインや手作りの漬物、煎餅等頂きながら酒宴が始まる。バスはテーブルの無いサロンカーのため出入りは楽だが酒類を置く場所が無く急ブレーキで停車した際にワインを靴に飲ませるK氏もいました。途中コンビニや道の駅で休憩し御池には3時28分に到着した。ここで仮眠となるが準備の良いM氏は外のベンチで寝袋にもぐって仮眠していた。残雪が多いせいか外気温は10度であったものの快適に寝ていたようです。

4時半頃に朝食の弁当が配給され腹ごしらえをしてから5時の沼山峠行シャトルバスに乗るため出発の準備をする。

出発準備が終わりシャトルバスに乗り換えるため車外に出ると、夜明け頃から沢山のツバメが飛んでいた。我々を出迎えてくれているのかと勝手に思う。

御池は時期的に残雪がまだ多いのと鳩待峠に比べ入山者が少ないせいかバスも混雑することなく余裕で座れる。沼山峠には20分程度で着いたが途中残雪と新緑で目を楽ませてくれた。

沼山峠で思い思いに出発の準備をしたがワンゲルの名カメラマンが沢山いて写真撮影、ビデオ撮影が始まる。モデルも沢山いて撮るのも大変でしょう。5時34分山下氏が先頭で歩き始めるが、歩き始めてすぐに残雪の中の歩行となった。かなり残雪が多いが、雪の上の方が歩きやすい。しかし19名が列をなして歩くと壮観な感じがする。展望台への登りの途中に弓のようになつた2本の細い木があったが、雪の重みのせいでしょうか。

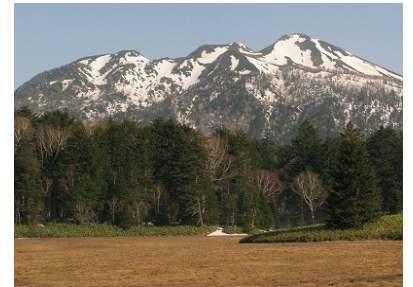
30分位歩き展望台に到着したが、ここから樹木の間から尾瀬沼を眺めることができる。展望台からは40分弱で大江湿原に到着、湿原ではまだ咲き初めの小さなミズバショウが点々と咲き、咲き始めのワタスゲも所々に見られた。遠くからカッコウの鳴き声も聞こえてくる。空も青く澄み大江湿原から目の前に燧ヶ岳の雄姿を見ることができる。大江湿原で記念写真を撮った後、長蔵小屋には2時間弱で到着した。ここの売店には「山の中で一冬越した美味しいビールがあります」との看板があったが、「だだの売れ残りではないか」と思う。

20分位休憩し尾瀬沼の対岸沼尻へ向かうが、歩き始めてすぐに川の中にギンブナを発見、宮田氏が釣竿の先端に水深60mまで大丈夫というカメラを装着して水中のギンブナを撮影、見ているとエサと間違えているのか分からないがギンブナがカメラに寄ってくる。寄り道組を残し先頭グループは先に進んで行くが、沼尻までの木道は濡れていて滑りそうな箇所が多い。途中樹木の間から至仏山の上部を見ることができる。木道を尾瀬沼を巻くように進み沼尻には約1時間10分位で到着した。

ここで楽しみのコ・ヒ・ブレイクとするため、お湯を沸かし準備したが、何と肝心のコ・ヒはバスに置き忘れたとのこと。これは担当幹事のS氏が参加出来なくなったせいかなどという声も聞こえてくる。仕方なく自然を満喫しながら白湯を飲むこととなった。コ・ヒは飲めなかったが、ここで水海道の荒井パンがおやつとして登場、皆に配給され餡子の美味しいこと・・・。

そういえば沼山峠からここまで花はミズバショウ位しかお目にかかれなかったと気づき、周辺を散策していたらまだ花開く前のショウジョウバカマを見つけることができた。時間に余裕があったので沼尻の売店のまわりを歩いてみるとソ・ラ・パネルが設置してあった。文明の力は山でも活躍している。

50分近く休憩をして長蔵小屋方面に戻ることもとなったが、同じコースでは面白みがないと尾瀬沼一周コース三平下方面を選ぶこととなる。しかしながらこちらのコースは難儀であった。10時頃になり残雪が多いこのコースは太陽の照り返しが強くて、サングラスを掛けないと眩しいくらいである。



またハイカ - があまり通らないし残雪も多いせいか木道も整備されておらず、おまけに倒木が行く手を邪魔する場所が多かった。

三平下の小屋が見え出す頃、ウグイスがすぐ近くで鳴き姿も見せて出迎えてくれた。そういえば余談ですが昔丹沢に行った時に疲れていたのかウグイスの鳴き声に「うささい」と怒った人がいたのを思い出す。

もちろんワングルの皆さんではありませんが・・・。

三平下には地図上のコ - スタ임は1時間5分であるが1時間45分費やす。三平下でおにぎり等をいただきながら30分近く休憩、出発前に燧ヶ岳をバックに全員で記念撮影する。三平下から長蔵小屋へ向かって歩き出すと、すぐに尾瀬沼に映る逆さ燧ヶ岳を見ることができた。ここでも全員で記念撮影した。

今回期待していたので満足。長蔵小屋に30分弱で到着したが、この辺りにはミズバショウが群生している。今回期待しているものとしてザゼンソウが咲いていないか常に探していたが結局見ることができなかったのは残念です。

長蔵小屋で15分位小休止となったが、気温が30 位あり直射日光を浴びていると暑さを感じる。

長蔵小屋から元のル - トで沼山峠へと向かうが、途中の川でリュウキンカを発見した。行きも同じコ - スを歩いてきたのに全く気付かなかった。

これでミズバショウ・ショウジョウバカマ・リュウキンカ・ワタスゲを目にすることができた。宮田氏が水深が少し深い川に行き再び水中カメラでギンブナを撮影、その様子を見ているとギンブナがカメラの方へ寄ってくるのが分かる。

大江湿原をのんびり歩き沼山峠展望台までの最後の登りに行くが、朝方と違い雪質も高い気温で柔らかくなっていた。

長蔵小屋から沼山峠には1時間20分程度で到着、ちょうど運よく御池行14時のバスに乗ることができた。御池に到着後温泉に浸かり疲れをとり、食堂で遅い昼食を摂る。登山と温泉の後のピ - ルは格別に美味しかった。

今回の尾瀬はこの時期あまり沼山峠から入山するハイカ - が、残雪も多いためか少なく、また行動中はずっと晴れていた。先頭を歩いた山下氏のペース配分もよく皆元気に歩いていたように思う。2年ぶりの尾瀬は大変楽しかった。残雪の踏み抜きや滑って転ぶ人もいましたが、皆怪我もなくバスも前回のように入山道路でのパンクもなく無事よかったです。お疲れ様でした。

